

愛知県感染症情報

平成 12 年第 3 週 (1 月第 3 週)

(コメント)

インフルエンザは、先週に引き続き 2,127 人から 4,046 人に急増しています。県内の集団かぜによる学級閉鎖も増えてきています。

(先生方からのコメント)

- ・ インフルエンザが大流行です (発疹、二峰性の発熱、熱性けいれん 1 才以下数名)。
ワクチン接種児は軽症です。
(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)
- ・ インフルエンザ (A) 多数
熱性けいれんを伴うものあり
(豊橋市 豊橋市民病院)
- ・ 嘔吐下痢症は減少し、インフルエンザが増えました。
FluA 陽性例が多い。
(西尾市 やすい小児科)
- ・ インフルエンザ増加。
依然、感染性胃腸炎が認められます。
(西尾市 山岸クリニック)
- ・ 高熱に伴う熱性痙攣。
4 才初発作。
インフルエンザワクチン (北研) 2 回接種。
(西尾市 こどもクリニック宮地医院)
- ・ カンピロバクター 7 才男
(岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院)
- ・ 病原大腸菌 0-6 VT1、VT2 (-) 7 ヶ月男
(岡崎市 にいのみ小児科)
- ・ 感染性胃腸炎 病原性大腸菌 0-1 3 名 (2 才男、6 才女、20 才以上男)
インフルエンザ FluA (+) 5 名 (2 才男 2 名、3 才男、3 才女、7 才女)
(知立市 近藤こどもクリニック)

- ・ 感染性胃腸炎（4才女）カンピロは陽性。
FluA 試薬足りず、FluA 施行後、陽性者のみ報告。26人（月）、7人（火）。
（豊田市 医療法人やふそ小児科）
- ・ 突発疹、水痘相変わらず散発。
インフルエンザ様疾患流行中。
ワクチン2回接種の学童にも数例発症（いずれもFluAにて確認して陽性でした）。
家族内発症も多く見られます。
（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）
- ・ 学童期のインフルエンザ（殆どはA型と思われます）が増加しています。ワクチンは接種後2名（4才、5才）罹患。
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
- ・ インフルエンザ流行のきざしあり。
（豊明市 豊明団地診療所）
- ・ インフルエンザ香港型多し。
（小牧市 医療法人心正会鈴木小児科）
- ・ インフルエンザ流行しています。
溶連菌、水痘もみられます。
（春日井市 かちがわ北病院）
- ・ 一部の保育園で麻疹が流行しています。
（立田村 医療法人谷本医院）
- ・ 今週よりインフルエンザ急増しました。
（東海市 小児科ハヤカワ医院）
- ・ インフルエンザ小中学生を中心に流行中
（一宮市 後藤小児科医院）
- ・ 二峰性発熱で数日～1週間持続する子が多いようです。比較的元気ですが、低年齢の子に肺炎になる児があり。インフルエンザではないようです（ワクチン接種済みの子も罹患）。
MCLS疑いの子が1人ありました。
（一宮市 あさのこどもクリニック）
- ・ 嘔吐、下痢がひどくて発熱の少ない例は感染性胃腸炎に入れました。
発熱と咽頭痛と長引く咳そののひどい症例。
この2タイプが混在しています。
今週は感染性胃腸炎がやや多いようでした。
（一宮市 田中内科小児科）

- ・ インフルエンザは B 型が成人 2 名、小児 1 名、A 型は多発。
校医をしている小学校は学級閉鎖が 1 組ありました。
糞便アデノウイルス 8 名（6 ヶ月女、2 才女、4 才男 2 名、4 才女、
5 才女、6 才男、10 才男）
（尾西市 城後小児科）
- ・ インフルエンザ感染症増えてきました。
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
- ・ 90% 以上アマンタジン著効。インフル多発。ほとんど吐き気あり。
H1N1? しかしアマンタジン不反応例 10 数例。H3N2 抗体 40%。
FluA(+)アマンタジン反応しない例 6 例。
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）

（1～3 類感染症の発生状況）

細菌性赤痢患者 1 名

岡崎保健所から報告の 32 才女 1/13 発病、1/14 初診、1/20 診
定。菌型は、ゾンネ。ベトナム渡航歴有り。

細菌性赤痢菌保有者 1 名

豊田市保健所から報告の 21 才男 1/13 発病、1/15 初診、1/19 診
定。菌型は、ゾンネ。インド渡航歴有り。

（全数把握の 4 類感染症の発生状況）

発生はありません。

第 1 週（平成 12 年 1 月 3 日～1 月 9 日）の 4 類感染症の全国状況
水痘の報告が全国的にかなり多くなっている。流行は全国的に見られ
るが、中でも報告が多いのは、宮崎県の定点当たり 7.8、佐賀県の
6.5、大分県の 5.9、新潟県の 5.6、福井県の 5.2 などである。患者
の年齢は 1～4 歳が最も多く、この年齢階級に全体の 68% が入っ
ている。インフルエンザは、奈良県で定点当たり報告数 16.5、和歌山県
で 11.3、愛知県で 11.0、宮城県で 10.4、大阪府で 10.2 と多くなっ
ている。咽頭結膜熱は非流行期であるが、患者報告が散見されている。
（Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供）